

平成29年度日本小児外科学会
第1回臨時理事会議事録

日 時：平成 30 年 1 月 31 日（水） 11：00～17：00

会 場：日本外科学会会議室

出席者：越永従道（理事長）、田尻達郎（副理事長）、窪田正幸（理事・会長）、八木 實（理事・副会長）、奥山宏臣、山高篤行、廣部誠一、臼井規朗、金森 豊、野田卓男（以上理事）、猪股裕紀洋、仁尾正記（以上監事）、黒田達夫（前理事長）、藤野明浩（庶務委員長）、渡井 有（財務会計委員長）、米倉竹夫（利益相反委員会委員長）、中村拓雄（司法書士）、村上 聡、仁田尾慶太（以上事務局）

欠席者：菱木知郎（庶務副委員長）、上原秀一郎（財務会計副委員長）、小林 隆（庶務委員）、浦尾正彦（財務会計補佐）

議事案件：

議 事：

1. 第1回臨時理事会の議事録署名人は、臼井規朗理事、野田卓男理事とした。
2. 平成29年度第6回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 審議事項

1) 第 55 回学術集会について（窪田会長）

窪田会長より資料に基づき、演題数、スケジュール、プログラムについて報告・提案され、承認された。

なお、会長講演については副会長が司会を務めるのが伝統であるが、各会長の意向も尊重すべきことが確認された。

日時：平成 30 年 5 月 30 日（水）、31 日（木）、6 月 1 日（金）

会場：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

テーマ：家族の夢を紡ぐ小児外科：次世代への提言

2) 第 56 回学術集会について（八木副会長）

八木副会長より前回理事会より進捗事項なしである旨、報告された。

日時：平成 31 年 5 月 23 日（木）、24 日（金）、25 日（土）

会場：久留米シティプラザ

3) 庶務委員会審議事項（藤野委員長）

藤野委員長より資料に基づき、前回理事会で継続審議となった海外名誉会員の推戴に関する内規案が再度提案され、一応の基準として 65 歳以上という項目を設けた点について説明があり、書式を一部修正することとし、承認された。

また、名誉会員・特別会員の推戴に関する理事会内規については、名誉会員・特別会員の審議する際にしか配っていなかったが、今後は審議しない時でも確認できるようにする

こととした。

4) 財務会計委員会審議事項（渡井委員長）

渡井委員長より資料に基づき、委員会活動における外部委員への謝金案が提案され、外部委員には1日委員会に参加した時には原則として9,000円(+交通費実費)、1日WEB会議に参加した時に3,000円とすることが承認された。

5) 各種委員会審議事項

(1) 機関誌委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より資料に基づき、日本小児外科学会学術機関誌投稿に際しての倫理的配慮に関する方針が提案され、承認された。倫理審査に関する問い合わせがあった際は事務局から機関誌委員会に報告し、機関誌委員会と研究倫理委員会とで情報共有の上進めること、実際の対応としては日本外科学会HPに記載の「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」に対するQ&Aを参照してもらうこととし、研究審査を実施している大学や日本医師会倫理審査委員会を紹介することとする。

(2) 国際・広報委員会（越永担当理事）

越永担当理事より資料に基づき、役職名および委員会名の英訳について各委員会に確認を取ったものが提出された。委員会名の統一性が無いため、山高理事の知り合いのネイティブスピーカーに英文をチェックしてもらい、ネイティブチェックが終わった段階で理事会に再度提出して審議することとした。理事会で承認が得られたら、機関誌に掲載し、学会HPの英語ページと日本語のページには対訳として掲載することとした。

また、専門医制度を外国の方に紹介するための英語の文章に誤訳が多かったため、委員会で中身を確認の上、再度理事会に提出することとした。

(3) 保険診療委員会（廣部担当理事）

廣部担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(4) 教育委員会（山高担当理事）

山高担当理事より資料に基づき、以下の点について報告・提案があり、承認された。

- ・第34回日本小児外科学会卒後教育セミナー及び第9回日本小児外科学会内視鏡手術セミナーの演者が決定し、承認された。

- ・小児外科卒前教育アンケートの作成について、前回2013年に実施したアンケートを基に案を作成し、次回総合調整委員会に提出すると報告された。

- ・規約委員会から依頼のあった委員会内規の書式を揃える作業が完了したと報告された。

(5) 悪性腫瘍委員会（田尻担当理事）

田尻担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(6) 学術・先進医療検討委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より資料に基づき、以下の点について報告・提案があり、承認された。

- ・2013年新生児外科全国集計のアンケート結果について、当時学術・先進医療検討委員であった東北大学の和田基先生より、論文としてまとめてPSIかJPSに投稿したい旨の申し出があったと報告がされた。委員会で審議した結果、和田先生の論文作成に関しては、2013年当時の理事会で論文作成が許可されており、authorshipに関してはすでに出ている新生児外科の論文を参考にその当時の委員会のメンバーを共著者として良いという結論が出されたと報告があり、審議の結果、論文にする前に東北大学の倫理審査を受けてもらい、日本小児外科学会学術集会とPAPSへの発表を可とするが、委員会報告については機関誌に投稿してもらうこととして了承した。

(7) 倫理・安全管理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より資料に基づき、以下の点について報告・提案があり、承認された。

- ・第55回日本小児外科学会学術集会で開催される医療倫理講習会の講師が、九州大学病院医療安全部の後信先生に決定した。
- ・倫理安全管理委員会だよりの第12回として術中アナフィラキシーのお話を作成したと報告があり、HPに掲載することが承認された。

(8) データベース委員会（山高担当理事）

山高担当理事より資料に基づき、日本小児外科学会が収集した臨床データの取扱いに関する規定および規定内規について前回理事会の審議を踏まえて改定を行ったと報告があり、本理事会では時間を掛けて見る時間が取れなかったため、持ち回り理事会にて審議を行うこととした。

(9) 小児救急検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告・提案があり、承認された。

- ・PALSの今後について、昨年の申込者が1人だったこともあり、広報活動を従来通り行い、今年も開催を予定していると報告された。
- ・熊本地震を機に作成を進めていた災害発生時マニュアルの草案が提出された。緊急連絡先等の情報を盛り込んだマニュアル内容とすることとし、継続審議とした。

(10) ワークライフバランス検討委員会（廣部担当理事）

廣部担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(11) トランジション検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告・提案があり、承認された。

- ・委員会内規の軽微な変更を行ったと報告がされた。
- ・重症心身障害に対する移行期ガイドブックの学会員へのパブコメ依頼について、昨年 10 月に HP に掲載した外科疾患を有する児の成人期移行についてのガイドブックには載っていなかった重症心身障害についての部分を前委員会が作成しており、会員に対してパブリックコメントを求めたいと提案があり、承認された。
- ・トランジションの必要性、方法、体制に関する実態調査として、症例に関しては評議員向けにアンケート調査を行い、施設に関しては認定施設向けにアンケート調査を実施したいと提案があり、承認された。

(12) 規約委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(13) 研究倫理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、今回特に審議事項がない旨述べられた。

(14) NCD 連絡委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より資料に基づき、以下の点について報告・提案があり、承認された。

- ・今後の NCD 関連研究課題リスト

委員会提案型の研究課題として何が行えるかについて検討を行ったと報告があり、データベース委員会に研究実施計画書を提出する予定である。

- ・今後の NCD でかかる経費について

委員会で NCD に確認を取り、今後費用が発生しそうな経費を算出したと報告があり、重要度が高い案件を来年度の予算に計上してもらうこととし、NCD からは見積もりをもらって予算計上の検討材料とすることとした。

- ・2011-2012 annual report の Surgical Today への再投稿について

2011-2012 annual report を Surgical Today に投稿したところ、委員会メンバーが著者になっていることが問題となり、査読が pending となっていて、委員会（旧 DB 委員会）は、理事会の決定に従うこととし、Surgical Today からも著者名をなしにして、委員会名で投稿可能との返事をもってはいたが、NCD の解析者も著者名が入らなくなるため、authorship に関して NCD 岩中理事長に意見を伺ったところ、第 3 執筆者以上に NCD 解析者を入れないと認められないとの返事があったと報告がされた。

今回に関しては特例として、タイトル名に日本小児外科学会という名称を入れて、本会からの報告であるという事を明示すること、authorship について当時の旧データベース委員会メンバーも全て載せることとし、再度理事会で審議することとした

なお、第 55 回学術集会時にデータベース委員会から今回の件は特例であるということ会員に周知することとした。

- ・NCD データを利用した複数領域にまたがる新規研究申請

日本外科学会と日本乳癌学会より複数領域にまたがる新規研究申請があったと報告が

あり、承認された。

- ・第 55 回日本小児外科学会学術集会でのポスター掲示場所の確保
- 第 55 回日本小児外科学会学術集会で 2016 年分のアニュアルレポートと新生児外科全国集計ポスターを掲示することについて提案がされ、承認された。

(15) ガイドライン委員会（金森担当理事）

金森担当理事より資料に基づき、以下の点について報告・提案があり、承認された。

- ・ガイドライン審査規約を作成したと報告があり、HP 上には規約の内容は記載せずに、審査希望があれば問い合わせてもらおうという運用をしたいと提案があり、承認された。
- ・現在 HP 上に掲載しているガイドラインのページは学術・先進医療検討委員会の名称で掲載されているが、ガイドライン委員会の名称で HP を更新したいと提案があり、承認された。

(16) 利益相反委員会（米倉担当理事）

米倉担当理事より資料に基づき、以下の点について報告・提案があり、承認された。

- ・前回理事会で継続審議となった利益相反に関する指針および運用規則について、他領域の COI に関する指針を参考にして金額等を見直したと報告があり、記載の～万円以上や～万円を超える等の記載について最終的なチェックを行うこととし、継続審議とした。なお、理事会で承認が得られた後は評議員会に諮ることとした。
- ・第 55 回学術集会の発表時の COI スライドは学術集会事務局に送付すると報告された。
- ・外部委員は委員会の活動を一緒にしてもらおう会員ではない方を指しており、仕事を外注するという事ではないということが確認され、委員会で外部委員の先生と話し合いを設けてもらうこととなった。

(17) 調査委員会（越永理事長、田尻委員長）

越永理事長および田尻委員長より、前回理事会で処分内容について承認されている調査委員会の対象となった会員について、本理事会で言い渡しを行うと通知していたと報告があり、本日をもって学会活動 3 カ月の停止の効力が生じると説明がされ、承認された。

(18) 法人格変更作業委員会（越永理事長）

越永理事長より資料に基づき、一般社団法人の定款施行細則案について読み合わせが行われ、以下の点について確認・審議された。

- ・準会員についての権利・対象・会費については継続審議とした。
- ・名誉会員・特別会員については「原則として 65 歳以上」と定めることとした。
- ・評議員の選出の箇所に女性評議員等について触れるかは、別途定めるか、附則で対応することとした。

- ・選挙の箇所の用語で、選挙の前年や、当該選挙年度という用語があるが、「当該選挙年度」に統一する。
- ・委員会の条項については、現在の委員会内規を元に更新する。
- ・委員には外部委員も含まれる理解であり、委員については原則評議員から選任という記載に変更する。
- ・学術集会の発表資格は引き続き共著者も会員である事を求めることとした。
- ・評議員の解任については文面を検討することとし、継続審議とした。
- ・一般社団法人の評議員選挙の1回目については附則で対応を検討することとした。
- ・専門医制度に関する事項については別に定めることとした。

6) 遺伝学用語について（越永理事長）

越永理事長より資料に基づき、日本医学会から日本医学会に所属していない日本遺伝学会が提案した遺伝学の用語に関して、意見を求める文書が届いたと報告がされた。本会としての対応として、学会 HP に意見募集について掲載を行い、また会員ニュースにも配信して広く会員から意見を集めることが提案され、承認された。

4. 報告事項

1) 理事長報告（越永理事長）

(1) 第11回メール審議報告（前回理事会で審議された藤代先生 JSPS および PAPS 抄録について、発表内容を半分にして JSPS と PAPS 双方に投稿すること）について、全会一致にて承認されたことが報告された。

(2) 第12回メール審議報告（日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針に対する各委員会の意見を外科関連学会協議会に送ること）について、前回一致にて承認されたことが報告された。

(3) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレターno.183」を受領した。

(4) 日本医学会からの通信文「ヒトパピローマウイルス感染症の定期接種に関するリーフレットについて」を受領した。

(5) 日本医学会からの通信文「神経麻酔分野の小口径コネクタ製品の切替えについて」を受領した。

(6) 日本医学会連合からの通信文「診療ガイドラインアンケート結果」を受領した。

2) 総合調整委員会報告（田尻副理事長）

田尻副理事長より資料に基づき、以下の点について検討を行ったと報告がされた。

- ・学会保有データの学術利用
- ・学会保有データの学術利用申請案件の評価
- ・NCD 連絡委員会の作業とデータベース委員会の公募案件との関係
- ・Authorship
- ・申請様式

- ・臨床効果 DB 整備事業の作業工程
- ・学術集会演題の倫理規定
- ・秋季シンポジウムのあり方
- ・専門医制度関連
- ・NCD データ解析研究公募

3) 庶務委員会報告（藤野委員長）

藤野委員長より、資料に基づき報告がなされた。

2017 年 12 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,827 名（うち海外 2 名）、評議員 317 名、名誉会員 52 名（うち海外 5 名）、特別会員 67 名（うち海外 1 名）の合計 2,263 名である。

4) 財務会計委員会報告（渡井委員長）

渡井委員長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

5) 各種委員会報告事項

(1) 機関誌委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、了承された。

- ・直近の投稿論文の採択状況（2017.11-12 月）は新規投稿 17 編、採択 16 編、不採択 0 題である。
- ・転載許可申請が 2 件あった。
- ・PSI Prize は投稿の締め切りを 3 月末として PSI の投稿規定を掲載した。
- ・学術集会記録に関して、第 54 回学術集会、第 33 回秋季シンポジウムともに掲載の方向で準備中である。
- ・後方視的臨床研究の倫理審査の必要性について、「日本小児外科学会学術機関誌投稿に際しての倫理的配慮に関する方針」を作成した。
- ・優秀論文の選定作業について、WEB 会議を実施して一次審査が完了し、最終的に 2 月 24 日の委員会で決定予定。

(2) 国際・広報委員会（越永担当理事）

越永担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(3) 保険診療委員会（廣部担当理事）

廣部担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、了承された。

- ・11 月 25 日、第 79 回日本臨床外科学会総会にてワークショップ「小児外科領域の診療報酬は適正か」を川瀬顧問、廣部担当理事の司会で行った。
- 演題名と演者は以下の通りであった。

①外保連試案の考え方(川瀬顧問)

- ②診療報酬の適正化に向けた日本小児外科学会の取り組み(小高顧問)
- ③腹腔鏡下胆道閉鎖症手術の保険収載に向けた要望(田中委員長)
- ④小児泌尿器科手術の診療報酬は適正か?(矢内俊裕 茨城県こども病院)
- ⑤ 男児陰嚢水腫と鼠径ヘルニア手術の診療報酬点数の妥当性検証(山口圭三久留米大学病院医療連携センター)

(4) 教育委員会 (山高担当理事)

山高担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(5) 悪性腫瘍委員会 (田尻担当理事)

田尻担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(6) 学術・先進医療検討委員会 (臼井担当理事)

臼井担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、了承された。

・新生児外科全国調査

NCD 連絡委員会、データベース委員会と共同で、PSJM 期間中に、「2018 年新生児外科全国集計実施に向けたパイロットスタディ」をポスター展示にて報告した。

ポスター内容の HP への掲載許可を理事会で承認され、12 月 15 日付けで小児外科 HP に掲載した。

・診療機器・診療材料の審議答申

株式会社アムコから日本小児外科学会に対して、「JustRight Surgical 社製品 (3mm シーリングシステム、JustRight 5mm ステープラ) の早期導入に関する要望書を本学会から厚労省への提出して欲しい」との依頼があった。

JustRight Surgical 社製品 (3mm シーリングシステム、JustRight 5mm ステープラ) を早期導入するのが妥当であるかに関して、11 月 7 日から委員会において審議の後、11 月 30 日に委員長が要望書案を作成した。要望書案について 12 月 3 日までに委員会で審議を行い、要望書案を理事会に答申した。

早期導入の要望書は、平成 29 年 12 月 8 日～12 月 15 日に理事会で審議が行われた後に承認され、事務局から株式会社アムコに通知された。

・先進医療及び学術的情報収集および会員への情報提供

「小児外科関連 Systematic Review・ガイドライン」の HP への掲載：

「小児外科で治療する病気」の HP への掲載：

井上委員が、日本小児外科学会 HP の閲覧数に関して、学会事務局にアナリティクスの使用方法を確認し、昨年 11 月 3 日以降の閲覧数が確認できるようになった。ガイドラインとシステマティックレビューは平均 3-5 回/日、疾患のページは数十から数百回/日の閲覧数となっていた。

・学会 HP の「小児外科で治療する病気」の改訂について

全疾患に関して、A：そのまま、B：図 (写真) のみ差し替えた方が良く、C：一部の

文章や数値を修正、D：大幅な文章の書き換えが必要、E：文章も写真も改変が必要、の5段階分けを行っている（3月15日終了予定）。

・学術集会における、「学会企画演題」の企画案を作成し、理事会に提出した。

(7) 倫理・安全管理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(8) データベース委員会（山高担当理事）

山高担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、了承された。

・第6回NCD・小児外科領域会議をNCD連絡委員会との共同で開催した。

・第55回日本小児外科学会学術集会の特別企画「専門医制度・NCD・学会データ関連合同企画」を専門医制度委員会、NCD連絡委員会と協議して企画を確定した。

・第79回日本臨床外科学会の会期中である平成29年11月23日に平成29年度第5回データベース委員会を開催した。

臨床効果データベース整備事業と学会保有データの学術利用についての議論を行った。

・学会保有データの学術利用についての申請書に付属する前文と記入上の注意点を作成した。

・今後のデータベース委員会の委員会活動を円滑に行うために、データベース委員会に岡本晋弥NCD連絡委員会委員長にオブザーバー参加して頂くこととした。また、NCD連絡委員会に山高篤行データベース委員会担当理事あるいは委員長の佐々木英之がオブザーバー参加することとなった。

(9) 小児救急検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、了承された。

・第8回小児救急セミナー（第55回学術集会期間内）テーマの講師が決定した。

「消化管異物」：沖縄県立南部医療センター小児外科 金城 僚先生

「気道異物」：兵庫県立こども病院小児外科 前田貢作先生

両先生に連絡をとり、講師の承諾を得ている。

・小児救急受け入れ状況調査・HP修正（2016年度実施）今後の方針、予定
現在、「外科的疾患をもった小児」、「外科的疾患をもった新生児」、「小児の外傷」、「小児の熱傷」、「陰囊の異常」、「異物誤飲」について小児救急受け入れ状況として施設毎にHPに掲載されている。追加項目については特に無く、2年ごとに更新を行う。

(10) トランジション検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(11) ワークライフバランス検討委員会（廣部担当理事）

廣部担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、了承された。

・第5回ワークライフバランス講演会開催報告

日時 平成29年10月27日(金) 18時から19時

会場 川崎市三号振興会館 9階第三研修室

演者 日本医師会副会長/ 今村 聡 先生

演題 医師の働き方改革-ワークライフバランス・男女共同参画-

参加者 男性31人、女性17人

講演内容

- 1, 勤務医の勤務実態と医療安全
- 2, 国の働き方改革に関する動向
- 3, 日本医師会の勤務医に関する取り組み
- 4, 日本医師会の男女共同参画に関する取り組み

講演会後のアンケート結果では、国の動向や日本医師会の勤務医に対する取り組みについて、多くのことがなされていることを知れた、という意見が多数あった。

経費： 会場費 50,000 円 講師謝礼5, 5685 円 (源泉税5, 685 円を含む)

諸経費 (印刷代、菓子代等) 48, 169 円

計 153,854 円 (日本医師会より全額補助予定)

・第55回日本小児外科学会学術集会 特別企画について

テーマは「徹底討論! 小児外科医の理想的な働き方」に決定した。

形式は、討論スタイル、トピックごとに討論する。

可能であればアンサーパッドを使用して聴衆参加型とする。

論者はワークライフバランス検討委員会委員もしくは指定論者を検討中。

年齢、施設、性別の多様な論者を選定する予定。

トピックは、小児外科医の適正分布、負担軽減、育成制度、男女共同参画等。

(12) 規約委員会 (金森担当理事)

金森担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、了承された。

- ・一般社団法人定款案、定款施行細則案に関する審議

法人格変更作業委員会にて提案された定款案・施行細則案につきメール審議を行い、修正案を理事長宛に提出した。

- ・一般社団法人化に向けた各種委員会内規作成依頼

各種委員会の委員会内規について、定型雛形を作成し、内規作成を各委員長宛に依頼した。1月中旬現在で三委員会を除き内規案の提出が確認されている。

(13) 研究倫理委員会 (野田担当理事)

野田担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(14) NCD連絡委員会 (臼井担当理事)

白井担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、了承された。

- ・NCD 仕様の改訂と動作確認
 - 医療品質評価術式の更新修正
 - NCD-P 仕様書の改訂
 - CRF の項目選択肢マイナーチェンジ（新生児以外の高難度手術において、術後呼吸管理日数を 3 選択肢（○なし ○30 日未満 ○30 日以上）から 4 選択肢（○なし ○4 日未満（術後 0～3 日目に抜管） ○4 日以上 30 日未満（術後 4～29 日目に抜管） ○30 日以上）になるように、マイナーチェンジを行った。
 - ・NCD-P の簡易版 CRF の作成について、今後データベース委員会で NCD データを用いた研究申請がある際に、学会員にどのような研究計画が立てられるのかを参考にさせていただくため、「NCD-P 簡易版 CRF」を作成した。
 - ・第 5 回小児外科学会学術集会での NCD 小児外科領域会議について
 - 第 55 回小児外科学会学術集会での NCD 小児外科領域会議のテーマを
 - NCD データから専門医制度の年次報告へ 仕組みを詳しく解説
 - 手術入力の利便性をもとめて 新術式検索システムの導入
 - 小児外科でも Audit まもなくです
 - データアップロード ダウンロードシステムについて
 - ここの入力に注意を！！
 - Q & A
（以上、NCD 連絡委員会から）
 - 日本小児外科学会における臨床効果データベース整備事業開始に伴う入力項目および方法の変更案について（長期フォローアップ & 内視鏡手術）
（以上、DB 委員会から）
- と決定した。
- ・annual report 2016 の解析項目案の改訂を行った。
 - ・学会員からの NCD-P 入力に関する問い合わせ対応について、入力質問に対する問い合わせに回答した。
 - ・NCD-P 入力時の術式検索システムについて、3～4 階層型の検索メニュー（大分類・中分類・小分類（NCD 術式））を現在作成中（未確定）である。
 - ・2015 年 NCD-P からの新生児外科全国集計について、学術・先進医療検討委員会より、解析項目の最終決定が報告され、委員会として妥当性を検討して承認された。
 - ・2013 年～2014 年アニュアルレポート原稿を作成し、小児外科学会雑誌に原稿を送付した。
 - ・NCD 連絡委員会の年間作業用スケジュールを作成した。

(15) ガイドライン委員会（金森担当理事）

金森担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(16) 利益相反委員会（米倉担当理事）

米倉委員長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(17) 法人格変更作業委員会（越永理事長）

越永理事長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

6) 次回臨時理事会日程の確認（越永理事長）

次回理事会は平成30年2月21日（水）11：00～16：00 大阪大学東京オフィスにて開催することが確認された。

理事長 _____

理 事 _____

理 事 _____